

(様式6)

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 19年11月30日

【評価実施概要】

事業所番号	2872600248		
法人名	社会福祉法人しあわせ福祉会		
事業所名	加西の里痴呆性老人生活介護事業所(たんぼぼの家)		
所在地	〒675-2241 加西市段下町字奥山848番地の14 (電話) 0790-48-2552		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	〒666-0016 川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2007年9月28日	評価確定日	2007年11月30日

【情報提供票より】(平成19年8月20日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 6人, 非常勤 1人, 常勤換算	7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	1 階建ての	~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,200 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(8月20日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護 1	5名	要介護 2	2名
要介護 3	2名	要介護 4	0名
要介護 5	0名	要支援 2	0名
年齢	平均 86 歳	最低 77 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 城谷医院、医療法人社団 竹村整形外科医院
---------	-----------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・地域に信頼される施設を目指しており、外部の人も積極的に受け入れている。地元のボランティアや利用者関係の知人友人の来訪など、多数の人の交流が見られる開かれた施設である。家族との接触を重視したり、利用者個々の意思を尊重する利用者本位の暮らしづくりの努力がなされている。施設の全員で草花を育て野菜を収穫し、それを食卓に乗せていることは利用者にも季節感を意識させる配慮と評価される。口体操やリハビリ体操なども継続されてADLへの注意もよくなされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4) ・野菜を食材として自家栽培し調理にいたるまで利用者、職員が共同作業しているのに、食事は別々である。施設の家庭的雰囲気を高めるには、利用者と職員が一体的な意識になることが大切であると思われる。この施設を含めた法人全体での職員同一処遇の原則も分からぬではないが、むしろグループホームの機能を重視する立場にたって、職員と利用者の一体感づくりのために同一の食事を共にする意義(グループホームの特別の事情)について再検討されたいかがかと考える。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4) ・職員全員で取り組んだ。項目によっては話し合い時間をかけて検討した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6) ・地域の区長、家族と利用者の代表者、市の担当者の参加により3ヶ月に1回開催されている。法的な制度や内容について、グループホームが持つ目的等について説明するとともに気軽に意見交換できる交流の場となっている。今回の評価の取り組みや結果報告によって出たその場の意見を前向きに活用していきたいと期待している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8) ・家族には個別に電話で話しをしたり、家族の来訪時の機会を捉え、こちらから積極的に聞き取りをしている。利用者間の人間関係等のデリケートな問題については、個別にきめ細かく配慮している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3) ・地元の有志たちによるボランティアが集まり、外出や行事に参加し共に楽しんでいる。家族だけでなく知人や友人等の面会も多くイベントには多数の来園があり盛況である。中でも地元高校生と教師が定期訪問し、昼食を共にしていることは利用者にとって楽しみの一つとなっている。

2. 第三者評価結果票

第 三 者	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・ 母体法人理念として「地域に開かれた地域に愛される地域に信頼される施設を目指す」を掲げ設立以来実践してきた。ホームとしては見守りケアの大切さを共通意識として持ち心あるケアを目標にしている。	○	・ すでに地域と共に歩んできた施設であるが、ケアの目標を取り入れたホームの独自性を表わす理念の検討が期待される。
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・ 月1回の職員会議、毎朝のホームミーティングで確認し意識付けしている。利用者の表情や状態について、日々の変化のなかで重視し、きめ細かい声かけに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・ 近隣高校の福祉クラブの生徒が、教師の引率で定期的に訪問し、昼食を共にしながら交流している。外出や行事等に地域のボランティアが参加することが日常的に行われ、恒例の催しには大勢来園され盛況である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・ 自己評価は職員全員で行い、話し合いながら検討した。前回の改善点である（同一食事を職員利用者が共にし、家庭的な雰囲気を高める）点は実施されていない、普段に使う食器については、プラスチック製から陶器製に変えた。		

第三者	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・3ヶ月に1回、市職員、地域の区長、家族代表、利用者代表の構成員で行われている。利用者の状態、サービス内容の報告と共に、今回の評価への取り組み状況等の報告も話し合われている。		
6	9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・市担当者のリードにより発足したグループホーム連絡会を2ヶ月に1回市役所で開催している。市担当者とグループホーム代表者は情報交換するとともに諸課題について検討している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・定期便り以外、家族来訪時に利用者の状態の報告、外出の予定など個別に伝えている。職員の写真を掲示し、異動紹介もしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・来訪の有無に関わらず、家族には電話で個別に聞いている。来訪された場合、こちらから積極的に声をかけ、話しやすいきっかけづくりに努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・異動は極力控えているが、やむをえない場合は利用者に事情をよく話し、納得をうよう努めている。		

第三者	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・外部研修には、毎年3～4人参加している。内部研修は職員会議後行い、内容は職員からの要望で決めている。職員からの意見や質問は専用の掲示板に記入してもらうことで収集し、全職員で話し合っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・グループホーム連絡会前に、代表者が会議に出す議題について、みんなで話し合いを行い意見交換している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・同一施設内の他のサービス利用者が、見学交流し職員が対応している。関心がある利用者には生活記録表等を記入してもらい利用者の生活状態を把握している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・季節に応じて、野菜作り、梅干しや梅酒の作り方を教えてもらい一緒に作業をしたり、毎日の日常的な食事の下ごしらえ、掃除なども協力して行っている。		

第三者	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ 居室内で一人ひとり話しを聞くことを基本にしている。話しやすい雰囲気づくりや、個人の思いを十分に把握するし方について職員全員で常に話し合いをしている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	・ 利用者のやりたいことを中心に、今出来ていることを少しでも長く継続できるよう家族と相談して、意向も併せて計画を作成している。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・ 定期的見直しの他、日々の変化の中で随時見直している。一人ひとりの心身状態を計画に詳しく記録し、家族の面会時に相談しながら反映している。		
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・ 医療処置を受けながらの生活の維持や協力医の24時間体制の健康管理と整形、内科、眼科の往診等医療体制が整えられている。法人内のデイサービスに希望者が参加している。またボランティアの受け入れも定期的に行っている。		

第三者	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ 併設の医療機関を納得してかかりつけ医としている利用者が多いが、家族等の希望に合わせて、他の医療機関の受診もある。その場合は原則家族同伴で受診するが、都合が悪い場合は職員が付き添っている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・ 終末期に関しては、利用者、家族、かかりつけ医と話し合い、一人ひとりの方針を共有している。看取りを希望される場合は同意をもらい確認している。		
・ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・ 職員に個人情報の保護と羞恥心への配慮を徹底している。本人の嫌がること、恥ずかしい気持ちへの心遣いに努めている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ 季節の花や衣類等希望に応じて、職員が買い物に同行している。リハビリを兼ねて散歩する人もいる。ホーム内では利用者の得意なことをしてもらう等希望にそった日々が送れるよう支援している。		

第三者	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理の下ごしらえ、盛り付け、片付け等できることを職員と一緒にやっている。梅酒を作ったりもしている。週1回ボランティアの訪問時だけは全員一緒に食事を楽しんでいる。	○	・職員はボランティア訪問日以外は、利用者と共に食事を取っていない。一緒に食事を味わいながら、利用者にとって食事が楽しいものになるような支援が望まれる。
23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・週3回決まった時間に入浴している。利用者から特に希望はないが、事業所は曜日や時間帯のとられない入浴を支援したいと検討している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・一人ひとりの得意なことを活かしながら、毎日の生活や季節の行事等を職員と共に楽しんでいる。歌の好きな人は併設のデイサービスに参加している。		・挨拶の得意な人が食事前の口腔体操のリーダー、新聞紙でゴミ入れを作る、玄関の掃き掃除、野菜の水遣り、調理等の役割を持ってそれぞれ生活している。
25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外にかけられるよう支援している	・交流センター（特養の2階）のボランティアのレクレーションに参加したり、月1回は利用者の希望に応じてグループまたは個別で外出や買い物に行っている。年2回は家族と一緒に親睦会をする等様々な外出支援がなされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中玄関の鍵は開いている。外に出たい人は出て、外気浴を楽しんでいる。		

第三者	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・自衛消防組織が構成されている。年4回法人全体で避難訓練を実施している。夜間を想定して、夜勤者のみの訓練も行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・併設の特養の栄養士が献立を立てている。ケアチェック表に食事摂取量と水分摂取量を記入している。食事量の少ない人には、調理方法を工夫したり、水分摂取については朝10時のたんぼぼ喫茶で補充している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共有スペースの広々としたガラス窓からは、庭の芝生や草花や洗濯物の干してあるのも見えている。台所は対面式、床はクッションフロアーで運営者の思いが出されている。		・見やすいカレンダーや各所に置かれている時計で日時を意識させる工夫がなされている。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・家具だけでなく、馴染みの卓上時計や小物入れ、自宅で育てていた植木等も持ち込まれている。カーテンも各自の好みのもので工夫されている。		

 は、重点項目。